

# ステップラダー(理学療法士専門分野)

大項目	目標の細分化	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
PTプロセス	既往歴・現病歴など理学療法を実施する上で必要な情報を収集できる 疾患・障害に対して、適切な評価項目を選択することができる ICFを用いて全体像を把握できる 得られた情報から対応すべき課題・問題点を抽出することができる 予後予測・ゴール設定ができる アセスメントに合わせたプログラム立案ができる 随時、理学療法のプログラム・ゴール設定を見直すことが出来る 対象者・家族に対して評価結果、治療方針を説明できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者の退院支援が助言・指導のもとできる</li> <li>問診ができる</li> <li>疾患に応じた評価用紙を選択できる</li> <li>助言を受けながら問診、評価結果をもとに課題点、問題点を抽出することができる</li> <li>助言を受けながらゴール設定ができる</li> <li>助言を受けながらアセスメントができ、プログラム立案ができる</li> <li>自分で分からないことが理解でき、質問できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準的な患者の入院から退院までのPTプロセスができる</li> <li>問診、評価結果をもとに課題点、問題点を抽出することができる</li> <li>ゴール設定ができる</li> <li>問題点、ゴール設定から患者に合わせたアセスメント、プログラムが立案できる</li> <li>わからないことをそのままにせず聞くことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベアの後輩セラピストのリハビリプロセスに助言ができる</li> <li>難症例の入院から退院までのPTプロセスができる(以下難症例に対して)</li> <li>問診、評価結果をもとに課題点、問題点を抽出することができる</li> <li>ゴール設定ができる</li> <li>問題点、ゴール設定から患者に合わせたアセスメント、プログラム立案ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同チームのセラピストのリハビリプロセスに助言ができる</li> </ul>	
理学療法評価	意識レベルを判定できる 関節可動域、感覚、筋力、疼痛、ADLなどを評価することができる 運動器疾患に関する特異的なスケールを用いて評価することができる 中枢神経疾患に関する特異的なスケールを用いて評価することができる 内部障害疾患に関する特異的なスケールを用いて評価することができる 在宅環境の情報収集ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中、下肢(TKA/THA、骨折)の評価ができる</li> <li>ポジショニングスクリーニング評価ができる</li> <li>家屋調査を行い先輩スタッフと改修案や福祉用具選定の過程を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脊髄疾患、脊椎疾患、廃用、神経筋疾患の評価ができる</li> <li>助言のもと自宅改修案、福祉用具の選定ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部障害の評価ができる</li> <li>理学療法評価の研修講師、指導ができる</li> <li>主体的に自宅改修案、福祉用具の選定ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学会、研修会、文献などから新しい見識、知識を取り入れ伝達講習を行うことができる</li> </ul>	
理学療法技術	関節可動域運動を実施できる 筋力増強運動を実施できる バランス練習を実施できる 基本動作練習を実施できる 移乗動作練習を実施できる 日常生活活動練習を実施できる 各種物理療法機器の適応と禁忌を理解し、適切な操作ができる 各種車椅子・福祉用具の選定・調整・操作を行うことができる 義肢・装具の適合を確認することができる 自主練習の方法を対象者・家族等に指導することができる 介助方法を家族・職員等に指導することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的理学療法の研修を受け、安全に理学療法を行うことができる</li> <li>自主トレパンフレットを使用し患者に自主トレ指導ができる</li> <li>電気刺激、温熱刺激の禁忌適応を理解し主治医の指示のもと実施できる</li> <li>指導のもとRFE+併用療法ができる</li> <li>普通型車椅子(モジュール)の調整ができる</li> <li>助言のもと介助指導(家族指導)ができる</li> <li>KAFOの調整、使用ができる</li> <li>BWSTTが使用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>症例に合わせたオリジナル(個性のある)自主トレ指導ができる</li> <li>RFE+併用療法ができる</li> <li>リスク管理をしながら重症患者のフォロー介入ができる</li> <li>シーティングチームと協働し特殊車椅子の選定、調整ができる</li> <li>助言を受けながら介護サービスなどの提案ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的理学療法の研修講師、指導ができる</li> <li>重症患者の担当ができる</li> <li>主体的に介護サービスなどの提案ができる</li> </ul>		
医療安全管理 感染対策	緊急時に多職種やスタッフと共に対応することができる 緊急コールの手順を理解している インシデント・アクシデントレポートの作成報告ができる 緊急時の避難経路や消化器の設置場所を知っている 急変時のBLSが実施できる 標準予防策(スタンダードプリコーション)が適切にできる 嘔吐物・汚物の処理が適切にできる 転倒転落防止策を実施できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に配慮し屋外歩行練習ができる</li> <li>インシデント報告書の作成手順が理解できる</li> <li>標準予防策を実践できる</li> <li>コードブルー手順が理解できている</li> <li>BLS研修を受講し実践できる</li> <li>嘔吐物処理セットの位置を把握し適切に使用できる</li> </ul>				
自己研鑽・能力開発		登録理学療法前期研修		登録理学療法士後期研修		登録理学療法士⇒認定・専門